

2024年10月31日

土山ハイウェイサービス株式会社

滋賀県甲賀市 日本最古の茶処を巡って集めませんか？

近江・甲賀の茶めぐり「^{ごせんいん}御煎印」を販売します！

- ✓ 販売期間：2024年10月31日（木）～2025年5月31日（土）
- ✓ 今年は7カ所のお茶屋で実施！すべて集めると信楽焼小皿をもれなくプレゼント！

滋賀県甲賀市の新名神高速道路土山サービスエリア（上下集約）（運営：土山ハイウェイサービス株式会社、本社：滋賀県甲賀市土山町、代表取締役社長：植田 重弘）は、土山茶商組合（滋賀県甲賀市土山町、担当：丸安茶業株式会社 前野 安司）、茶商組合信楽会（滋賀県甲賀市信楽町、担当：株式会社山本園 山本 靖）と協力し、滋賀県甲賀市内の7つのお茶屋を巡る「近江甲賀の茶めぐり 御煎印（ごせんいん）」を2024年10月31日（木）から2025年5月31日（土）までの期間に販売します。

この「御煎印」は、土山サービスエリアが位置する滋賀県甲賀市の特産品「土山茶」「朝宮茶」を広く知っていただくことを目的に、お茶畑広がる土山・信楽地区を周遊していただき、気軽に味わっていただくことで、甲賀市の魅力を再発見して親しんでいただきたいという思いから実施するものです。

この「御煎印」は、甲賀市土山町内の株式会社マルヨシ近江茶、丸安茶業株式会社、近江製茶株式会社、有限会社藤田製茶、甲賀市信楽町内の株式会社山本園、かたぎ古香園、茶城藤田園の7カ所のお茶屋で販売します。

販売価格は1カ所500円（税込）で、「御煎印」とお茶屋自慢の一煎茶がセットとなっています。また、7カ所のお茶屋を巡っていただき、「御煎印」をすべて集めていただくと、信楽焼小皿をもれなくプレゼントします。

詳細は、別紙の通りです。



お茶むすめと「御煎印」



7カ所の「御煎印」

【別紙】

近江・甲賀の茶めぐり「御煎印（ごせんいん）」の販売について

1. 販売期間 2024年10月31日（木）～2025年5月31日（土）

2. 販売場所 近江製茶株式会社 滋賀県甲賀市土山町前野 504 TEL.0748-67-0308

明治4年の創業以来近江の茶の産地問屋として、全国に近江の茶を販売しています。安心しておいしく楽しんでいただけるお茶をお届けしています。

【営業時間】 9：00～17：00

【定休日】 第3日曜日・年末年始

丸安茶業株式会社 滋賀県甲賀市土山町頓宮 267 TEL.0748-67-0015

三百有余年の歴史と伝統を受け継いだ日本茶・ほうじ茶を生産。開業して以来150年清浄な香りと深みある味をお届けしています。

【営業時間】 平日 8：00～18：00 / 日祝 9：00～18：00

【定休日】 不定休

有限会社藤田製茶 滋賀県甲賀市土山町徳原 155 TEL.0748-67-0172

祖父から引き継いだ昔ながらの栽培方法で健やかに育てています。ハートのお茶も人気です。親子で作る伝統の味をご賞味ください。

【営業時間】 9：30～18：00

【定休日】 不定休

株式会社マルヨシ近江茶 滋賀県甲賀市土山町大野 2723 TEL.0748-67-1333

近江土山頓宮産茶葉をはじめ、地元の茶園で摘み取られた茶葉を中心に季節ごと日本各地の茶畑から選りすぐりの茶葉を取り寄せ、時が培った熟練の「焙じ」の技でその茶葉が持つ美味しさを引き出しました。

【営業時間】 9：30～18：00（喫茶 10：00～18：00 / LO.17：00）

【定休日】 元日（喫茶：火曜日）

株式会社山本園 滋賀県甲賀市信楽町上朝宮 275-1 TEL 0748-84-0014

「近江の国 紫香楽朝宮の地」に茶の実が植えられてからおよそ1200年、山本園は、緑深くよかな茶畑から味と香りをそのままに朝宮茶をお届けします。

【営業時間】 9：00～17：00

【定休日】 月曜日、第4火曜日

茶城 藤田園 滋賀県甲賀市信楽町上朝宮 540-1 TEL 0748-84-0123

信楽高原のきれいな水と空気、輝く太陽の下で生産され味がよく香気に優れたお茶です。

【営業時間】 9：00～17：00

【定休日】 木曜日

かたぎ古香園 滋賀県甲賀市信楽町宮尻 1090 TEL 0748-84-0135

1200年の歴史ある朝宮の地で、1975年より農薬を一切使用せずに味と安心の願いを込めて栽培しています。

【営業時間】9:00~16:30

【定休日】不定休

3. 販売価格 1カ所500円(税込) ※御煎印と一煎茶がセットの価格です。

4. 特典 7カ所の御煎印を集めていただくと、信楽焼の小皿をもれなくプレゼントします。

【引換場所】新名神高速道路土山サービスエリア コンシェルジュカウンター

【引換時間】9:00~18:00

◇お客さまからのお問合せ先

土山ハイウェイサービス株式会社

TEL.0748-66-1660 (9:00~20:00)

滋賀県甲賀市土山町南土山字尾巻甲 1122-74



★近江・甲賀の茶めぐり「御煎印 (ごせんいん)」のポイント!

① 歴史ある茶処をドライブしてコンプリート!

実は甲賀市は日本五大銘茶を生み出したお茶の名産地です。

甲賀市には土山茶と朝宮茶があり、今回はどちらの産地も参加しているため、各産地の味を楽しむことができるのも醍醐味です。

秋から春まで開催されるこの企画ではドライブすることで楽しめる紅葉や桜など自然豊かなお茶が栽培される土地も一緒に感じることができます。

1日で回ることもできますし、期間をあけてじっくりと巡るのも楽しいですね。

② 御煎印と一緒にお渡しする推し茶!

お茶屋からの声「昨年も多くの方にお越しいただき、各お店で全然お茶が違うことでより面白さを感じてもらっているようです。巡った証としてもらえる御煎印もそれぞれの個性が出ていることと、一緒にもらえるそれぞれのお店の推し茶がこれまた個性が強いので満足度が高くなっているのだと思います。今回は昨年よりも参加しているお茶屋も増え、巡る楽しさも増えています。ぜひ美味しいお茶を味わって思い出に残る旅にいただければ幸いです。」

③ SDGs 捨てられてしまう茶葉から作ったお茶インク!

お茶屋でも製造上廃棄してしまう茶葉が少なからずあります。例えば抹茶を作るときに出てしまう粉塵を集めた残渣などは通常捨てられてしまいます。今回はその残渣をペーストに加工してインクを作りました。「御煎印」で記入するときにこれを使用していきます。

<参考>



土山茶

土山茶は、室町時代(1356年)に常明寺の僧鈍翁が、京都の大徳寺から茶の種子を持ち帰り栽培したことが始まりといわれています。
土山町の茶は、全国や関西の茶品評会で「かぶせ茶の部」で何度も農林水産大臣賞を受賞しています。

土山茶(つちやまちゃ)は、滋賀県甲賀市土山町周辺で栽培されている日本茶です。滋賀県内最大の栽培面積・生産量を誇ります。1356年に常明寺(現土山町)の僧鈍翁が京都の大徳寺から持ち帰ったお茶の種子を栽培したことが始まりとされています。江戸時代に永雲寺の僧天嶺が茶を広く栽培し、村人や旅人に分け与えたものが東海道の街道名物「あけぼの茶」として有名になり、これが土山茶の礎となっています。

幕末の開港後、茶は国内で生糸に次ぐ輸出品となり、1880年刊の滋賀県物産誌によると県下で最大の生産量を誇ったとされています。

1881年(明治14年)、土山村の茶業家によって土山茶会社が設立され、輸出用紅茶の品質向上と再製茶の直輸出販売により経営の安定化が図られました。なだらかな丘陵地で長い日照時間と清水に恵まれて育ちます。長く分厚い葉肉で味・香りが濃く、同じ茶葉で二煎目もおいしく飲めるといわれています。



朝宮茶

朝宮茶は、平安時代(805年)に僧最澄が岩谷山に茶を植え、815年に朝廷に献上するために始まったといわれています。
信楽町の茶は、全国や関西の茶品評会「普通煎茶の部」で何度も農林水産大臣賞を受賞しています。

朝宮茶(あさみやちゃ)は、滋賀県甲賀市信楽町朝宮周辺で栽培されている日本茶です。宇治(京都府)、川根(静岡県)、本山(静岡県)、狭山(埼玉県)と並んで**日本五大銘茶**の一つに数えられます。

日本最古級の茶産地である。805年に延暦寺開祖の最澄が茶の種子を唐から持ち帰り、朝宮の岩谷山に植え、815年に朝廷に献上するために始まったとされます。最古の史料として、室町時代の文明年間(1469年-1487年)に信楽荘の代官と土豪が領主の近衛家に茶を献上した記事があります。江戸時代には松尾芭蕉が甲賀市信楽町の朝宮を何度となく訪れた際に残した句「木隠れて 茶摘みも聞くや ほととぎす」の句碑があります。

幕末の開港後、茶は国内で生糸に次ぐ輸出品となり、1880年刊の『滋賀県物産誌』によると土山地域に次ぐ生産量を誇りました。

新名神高速道路 土山サービスエリア



滋賀県甲賀市土山町にある「土山サービスエリア」は亀山～草津を結ぶ新名神高速道路上に位置し、上下線集約型の休憩施設となっております。高速を利用されない地元のお客様もショッピング・食事に、また高速バス発着場としてもご利用いただけます。関西・名古屋・伊勢のお土産豊富な売店、麺類・丼物・定食等が食事できるフードコート、どちらも24時間営業となっております。このほかコンビニエンスストア(24時間営業)、近江牛が食べられるレストラン、天むす、磯揚げ、たこ焼き、豚まん、ピザ店、宝くじ売場と多彩なお店が憩いの時を楽しませてくれます。